

伊東市総合計画 基本構想策定のための高校生ワークショップ 〈結果概要〉

〈開催日時〉 2019年8月19日（月） 10：30～12：00
8月20日（火） 13：00～17：00
〈会場〉 市役所 5階中会議室（19日） 第2委員会室（20日）
〈参加者〉 市内高校生10人
〈開催プログラム〉

◆1日目

テーマ：伊東市の現状について確認する

目 標：総合計画を理解し、自身の暮らしを通してまち全体を見つめなおす。
まちの現状について皆で考え、WSへの参加が楽しくなる。

〈内容〉

- ①市長ご挨拶
- ②オリエンテーション
- ③チェックイン
- ④総合計画ってなに？
- ⑤現在の伊東市の現状の確認
- ⑥振り返りタイム
- ⑦まとめ～オリエンテーション

◆2日目

テーマ：理想の伊東市像を描く

目 標：多様な人の立場に立って、理想の伊東市の姿を描き、そのために必要な取組など見つけ、伝える。

〈内容〉

- ①オリエンテーション
- ②チェックイン
- ③理想の伊東市像について意見交換
- ④グループ毎に発表

意見交換結果の全体まとめ

1. 伊東市の現況

いいなと思うところ

<景色・環境>

- ・小室山の頂上から見る景色が綺麗
- ・海が綺麗
- ・山がある
- ・景観が良い
- ・松川公園の風景が綺麗

<自然>

- ・自然と共生した街並み
- ・自然がたくさんある
- ・海と山が近い（海と山に囲まれている）
- ・特殊な地形
- ・ジオパークがある
- ・空気が綺麗

<土地>

- ・坂道があまりない
- ・徒歩で移動しやすい
- ・広い土地

<観光>

- ・観光客が多い
- ・熱海や下田から電車一本で来ることができる
- ・自然を活かした娯楽や施設がある
- ・温泉がたくさんある
- ・花火がたくさん上がる
- ・花火を打ち上げる場所が近く、迫力がある

<特産物・食>

- ・特産物が多い（みかん、魚など）
- ・新鮮な魚が食べられる
- ・お菓子、ケーキなどのお店がたくさんある
- ・マリントウンで特産物を売っている

<生活>

- ・のどかで、ゆったりと過ごせる
- ・のんびり生活できる

- ・雰囲気が落ち着いている
- ・忙しくなく静か
- ・体も心も癒される
- ・暮らしやすい
- ・楽しくお散歩できる

<人>

- ・人が優しい

問題だと思うこと

<人口>

- ・少子高齢者（子供が少ない）
- ・人口減少
- ・過疎化

<交通>

- ・交通の便が悪い
- ・公共交通（電車・バス）の運賃が高い
- ・電車の本数が少ない（1～2時間に1本程度）
- ・新幹線が止まらない

<住民>

- ・伊東市駅前の商店街に活気がない（シャッター街が多い）
- ・活気がなくなっていく
- ・進学（高校・大学）を機に出て行く人が多い
- ・若者が減ってきている
- ・後継者不足
- ・働くところが少ない
- ・市内で就ける職業が限られている

<観光への知識と意識>

- ・地元住民が（ジオパークのことなどを）知らない、触れる機会がない
- ・地元住民が観光資源を理解、利用し切れていない

- ・観光における「利点」を生かしきれていない
- ・観光においては温泉にばかり目を向けている気がする
- ・インバウンドに対応できていない
- ・昔よりも有名なものがなくなった
- ・特産物がよくわからない(目立つものがない)
- ・若者向けの観光地ではない

<娯楽>

- ・全体的に店が少ない(特に服、ゲームなど)
- ・買い物できるところが限られている
- ・若者が気軽に遊んだり寄ったりできるところがない

<環境>

- ・最近海が汚く、ゴミが浮いている
- ・公共のトイレが汚い

2. 伊東市で残したいこと、変えたいこと

残したい(続けたい) こと

<環境・景観>

- ・自然環境(小室山、大室山など)
- ・のどかなところ
- ・広い土地
- ・環境保全活動
- ・ジオパーク等の保護・管理
- ・海の景色
- ・海、山の綺麗な景色
- ・古い街並み

<伝統・文化>

- ・祭りなど既存のイベント
- ・按針祭、大田楽などの大型イベント
- ・按針祭などの本当の由来を伝えること

<住民の生活と意識>

- ・主体的、積極的に自ら伊東市を良くしようとする心
- ・町内会などのコミュニケーションをとる場

<観光>

- ・観光地
- ・大室山、小室山

<特産物>

- ・伊東市の特産物(やまももなど)
- ・特産物を使った商品
- ・山・海の幸

<交通>

- ・日常の交通機関(伊豆急、東海バス)
- ・東京近郊の人にとってはアクセスが良い点

<福祉>

- ・老人ホーム
- ・保育園、幼稚園

変えたいこと

<人口減少>

- ・人口の減少、少子高齢化
→子供が少なくなっているから公共のサービスは高齢者向けのものが多くなっていく
- ・若者が離れていく状況

<商店街>

- ・商店街のシャッター街化
- ・店舗の少なさ
- ・駅前の静けさ
- ・暗いイメージ

<観光>

- ・観光名物を海に頼りすぎている点
- ・観光客に頼らざるを得ない状況
- ・外国人観光客への対応
- ・観光客の減少

<住民の知識・意識>

- ・住民が住む場所に何も感じていないと

- ・ ということ
- ・ 地元民の地元に対する知識・関心の低さ
- ・ 住民が伊東市の歴史や土地に関する資料に触れる機会の少なさ
- ・ 住民のグローバル化に対する意識
- ＜若者の地元離れ＞
 - ・ 若者向の施設が少ないこと
 - ・ 働く場所が限られている
 - ・ イベント・祭りでしか人が来なくなる
- ＜交通機関＞

- ・ 交通機関の利便性（運賃、アクセス面）
- ・ 電車・バスの利便性（現在は電車の本数が少ない）
- ＜市内の施設・環境＞
 - ・ パチンコなどの不要な施設がある状況
 - ・ ポイ捨て、街の中のゴミがある状況
- ＜市全体＞
 - ・ 他の市と合併して伊東市がなくなる（このようなことは起きて欲しくない）
 - ・ 中途半端なところ（ジオパークなど）

3. 実現のための取組、自分自身がやってみたいこと

Aグループ：必要な取り組み

- ＜観光の発展と地元民の郷土愛醸成のために＞
 - ・ 海、温泉、ジオパークを有効活用したツアーなどの企画の提案外国人観光客、国内旅行者のために伊東八景、ジオパークに音声ガイドを導入
 - ・ 駅などに外国人が絶対的に必要としているものをつくる（ムスリム対応の礼拝スペースなど）
 - ・ 学校の授業でジオパークについて調べたり実際に見に行ったりする機会をつくる
 - ・ 教員の研修会などでジオパークの話題などを取り上げる
 - ・ 伊東について学べる場の提供（歴史・土地柄など）
- ＜暮らしやすいまちづくりのために＞
 - ・ 少子高齢化対策（不妊治療や安産関係の施設を増やす）
 - ・ 少子化の方ばかり目を向けず、アフターケアをしてあらゆる世代の人に優しく、暮らしやすい環境をつくる
 - ・ 高齢の方から伝統をつなぐような取り組み
 - ・ 市民がもっと協力する
 - ・ 住民の声などを聞けるように小学校やコミュニティセンターに市などへ送

る目安箱のようなものを設置する

- ・ 交通網の整備
- ・ ゴミ箱の設置

Aグループ：自分たちがやってみたいこと

- ＜企業誘致やイベントの開催に関わる＞
 - ・ 様々な企業を呼び込む
 - ・ 様々な世代のニーズに対応した企業と施設の誘致
 - ・ 地元の人以外も一緒に楽しめるイベントの開催にもっと力を入れる
 - ・ シャッター街が明るくなるように学生が主体となってアートをつくってみる
 - ・ イベント業者と学生がイベントの計画・運営をやってみたい
- ＜環境整備＞
 - ・ 地域の人たちと海・道路のゴミ拾いなどを
- ＜朝市の開催＞
 - ・ 朝市などの誰でも気軽に参加できて楽しいイベントを企画する
 - ・ 新鮮な魚を食べてもらえるように海の近くに店・朝市・魚市場などを開催して活気づける
 - ・ 自然を活用した食・施設をつくる、守る（「ここならではの」のものをもっと売る！）

＜若者からの情報発信＞

- ・自分からも地元の知識などを発信していく

＜外国人との密接な交流＞

- ・外国人との交流の場をつくる

＜ジオパークへの意識の改善や向上＞

- ・市民のジオパークやグローバルに対する意識

＜環境の保全や環境整備＞

- ・環境保全活動、ゴミ拾い

＜効果的なPR活動＞

- ・特産物や大きなイベント等を市街へPRする
- ・市内の学生がPR活動をする

＜名産品、商店街等食べ歩きできる商品の開発＞

- ・新たな名産品の開発
- ・出店などで集客をする
- ・イベント・名産品の考案

＜今あるイベントの改善や回数の増加、若者と協力した新しいイベント＞

- ・今あるイベントの改善や回数の増加
- ・イベントを増やす
- ・若者と密着したイベントを提案



Bグループ：必要な取り組み

＜就職先を増やす＞

- ・若者が市へ戻ってくるよう働く場を増やす

＜グローバル化・多世代対応の施設をオープン＞

- ・観光客向けの施設やサービスを増やす
- ・どの世代も楽しめる施設をつくる
- ・魅力的な施設のオープン

Bグループ：自分たちがやってみよう

＜若い層と協力した街づくり＞

- ・小・中・高の授業で取り組む
- ・意見を出す場をもっと増やす
- ・市内の中・高校生の活躍

＜アート・美術による街の活性化＞

- ・アートや美術が注目されることもある、より良い暮らしのデザイン

